

表 8-1-7-6(12) 主要な眺望景観の概況

図中番号	日常的な視点場	位置	利用形態	景観の状況
13	飯田神社	方向： 北西 標高： 161m 距離： 0.3km (近景)	神社 寺院 落葉期	
	眺望景観の概況： 対象事業実施区域から南東方向約0.3kmに位置している。 飯田神社と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、またタケヤスギ・ヒノキ林に囲われていて視界が遮られているため、落葉期及び着葉期ともに対象事業実施区域を視認できない。			着葉期 

注1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。

注2：方向は主要な眺望点から対象事業実施区域を望む方向、距離は対象事業実施区域から主要な眺望点までの距離。

注3：距離区分は、近景：400m程度以内、中景：近景域以遠～2.8km程度、遠景：中景域以遠とした。

表 8-1-7-6(13) 主要な眺望景観の概況

図中番号	日常的な視点場	位置	利用形態	景観の状況	
14	栃本親水公園	方向： 南東 標高： 89m 距離： 2 km (中景)	レクリエーション	落葉期	
	眺望景観の概況： 対象事業実施区域から南東方向約2kmに位置している。 対象事業実施区域は視認できるが、落葉期と比べて着葉期は植生によって一部が遮られる。			着葉期	

注1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。

注2：方向は主要な眺望点から対象事業実施区域を望む方向、距離は対象事業実施区域から主要な眺望点までの距離。

注3：距離区分は、近景：400m程度以内、中景：近景域以遠～2.8km程度、遠景：中景域以遠とした。

④ その他の予測・評価に必要な事項

(a) 文献その他資料調査

文献その他の資料調査による地域の景観特性は「3-1 自然的状況 3-1-6 景観及び人と自然との触れ合いの活動の場 (1) 景観の状況」に、地形・地質は「3-1 自然的状況 3-1-4 地形及び地質の状況」に、植物は「3-1 自然的状況 3-1-5 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況 (2) 植物の生育の状況」、史跡・文化財は「3-2 社会的状況 3-2-8 環境の保全を目的とする法令等により指定された地域その他の対象及び当該対象に係る規制の内容 その他の環境の保全に関する施策の内容 (2) 自然関係法令等 8) 史跡・名勝・天然記念物」に示したとおりである。

また、文献その他の資料調査による土地利用の状況は「3-2 社会的状況 3-2-2 土地利用の状況」に示したとおりである。

2) 予測及び評価の結果

① 地形改変及び施設が存在

(a) 環境保全措置

地形変形及び施設が存在に伴う景観への影響を低減するため、以下の環境保全措置を講じる。

- ・森林伐採量を最小限に抑え、残置林を確保し、周辺からの景観に配慮する。
- ・太陽光パネルは、低反射型太陽光パネルを採用する。

(b) 予測

a) 予測地点

主要な眺望点の予測地点は表 8-1-7-1 及び表 8-1-7-2 に、景観資源の予測地点は表 8-1-7-3 に示した地点を対象とした。

主要な眺望景観の予測地点は、現地調査結果に基づき、景観の現地調査を実施した 13 地点のうち、眺望景観及び利用の状況等から表 8-1-7-7 に示す 6 地点を対象とした。

表 8-1-7-7(1) 主要な眺望景観に係る予測地点の選定結果(主な眺望点)

図中 番号	名称	選定結果	選定理由
1	見晴らしの丘公園	選定する (予測地点 1)	対象事業実施区域を視認できる地点であることから予測地点とする。
2	県立小川げんきプラザ	選定する (予測地点 2)	対象事業実施区域を視認できる地点であることから予測地点とする。
3	官ノ倉山	選定する (予測地点 3)	対象事業実施区域は隣接する石尊山の陰となり視認できないが、対象事業実施区域は眼下にあり、官ノ倉山は小川町のハイキングコースの一部区間にも含まれる(8-1-8 人と自然との触れ合いの活動の場を参照)ため予測地点とする。
4	石尊山	選定する (予測地点 4)	落葉期において石尊山手前の木々の隙間より対象事業実施区域を視認できることから予測地点とする。
5	富士山	選定しない	富士山山頂は植生により視野が遮られているため、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。

注 1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。

表 8-1-7-7(2) 主要な眺望景観に係る予測地点の選定結果（日常的な視点場）

図中 番号	名称	選定結果	選定理由
7	熊野神社	選定しない	熊野神社と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、また植生により視野が遮られているため、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
8	三光神社	選定しない	三光神社と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
9	天王池	選定しない	天王池と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
10	長福寺周辺	選定しない	長福寺周辺と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
11	北向不動付近	選定しない	北向不動付近は谷地形の底に位置し、周囲をスギ・ヒノキ植林に囲われていて眺望が利かず、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
12	笠原集落	選定する (予測地点 5)	対象事業実施区域を視認できる地点であることから予測地点とする。
13	飯田神社	選定しない	飯田神社と対象事業実施区域との間に地形的な起伏が存在し、また植生により視野が遮られているため、対象事業実施区域を視認できないことから予測地点としない。
14	栃本親水公園	選定する (予測地点 6)	対象事業実施区域を視認できる地点であることから予測地点とする。

注1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。

b) 予測対象時期

太陽光発電所施設が完成した時期とした。

c) 予測手法

(7) 主要な眺望点及び景観資源

主要な眺望点及び景観資源の位置と対象事業実施区域を重ねることにより影響の有無を予測した。

(イ) 主要な眺望景観

主要な眺望景観について、フォトモンタージュ法による視覚的な表現手法により景観の変化について予測した。

d) 予測結果

(7) 主要な眺望点及び景観資源

主要な眺望点及び景観資源については改変されないことから、対象事業の実施による直接的な影響はないと予測した。

(イ) 主要な眺望景観

主要な眺望景観の変化の予測結果は、表 8-1-7-8 に示すとおりである。また、対象事業実施区域の可視状況を予測したフォトモンタージュは、図 8-1-7-4 に示すとおりである。なお、官ノ倉山と石尊山を除く地点においては、対象事業実施区域を赤く示したフォトモンタージュも示す。

表 8-1-7-8 主要な眺望景観の変化の予測結果

図中 番号	名称	予測結果
1	見晴らしの丘公園	遠景域で対象事業実施区域が視認できると予測されたが、低反射型太陽光パネルを採用するため、周辺の景観となじみ、また、残置林を確保して周辺との景観に配慮することから、主要な眺望景観への影響はごく小さいと考えられる。
2	県立小川げんきプラザ	中景域で対象事業実施区域が視認できると予測されたが、低反射型太陽光パネルを採用するため、周辺の景観となじみ、また、残置林を確保して周辺との景観に配慮することから、主要な眺望景観への影響はごく小さいと考えられる。
3	官ノ倉山	近景域で、手前の植生や隣接する石尊山に対象事業実施区域が遮蔽されて視認できないため、主要な眺望景観の変化は生じないと予測された。
4	石尊山	近景域で、着葉期は手前の植生に対象事業実施区域が遮蔽されて視認できないため、主要な眺望景観の変化は生じないと予測された。 落葉期は木々の隙間から対象事業実施区域が視認できると考えられるが、低反射型太陽光パネルを採用するため、周辺の景観となじみ、また、残置林を確保して周辺との景観に配慮することから、主要な眺望景観への影響はごく小さいと考えられる。
12	笠原集落	近景域で対象事業実施区域が視認できると予測されたが、低反射型太陽光パネルを採用するため、周辺の景観となじみ、また、残置林を確保して周辺との景観に配慮することから、主要な眺望景観への影響はごく小さいと考えられる。
14	栃本親水公園	中景域で対象事業実施区域が視認できると予測されたが、低反射型太陽光パネルを採用するため、周辺の景観となじみ、また、残置林を確保して周辺との景観に配慮することから、主要な眺望景観への影響はごく小さいと考えられる。

注1：表中の図中番号は図 8-1-7-1 中の数字に対応する。



図 8-1-7-4(1) 見晴らしの丘公園 着葉期 (現状)



図 8-1-7-4(2) 見晴らしの丘公園 着葉期 (将来)



図 8-1-7-4(3) 見晴らしの丘公園 落葉期 (現状)



図 8-1-7-4(4) 見晴らしの丘公園 着葉期 (将来)



図 8-1-7-4(5) 県立小川げんきプラザ 着葉期（現状）



図 8-1-7-4(6) 県立小川げんきプラザ 着葉期（将来）